

## キッズハウスひかり 自己評価結果集計票

自己評価対象	通し番号	項目数	「はい」の数	「はい」の割合
第1章 総則	1～12	12	8.8	73%
第2章 子どもの発達	13～21	9	8.9	99%
第3章 保育の内容	22～68	47	43.8	93%
1, ねらい・内容	22～27	6	5.7	95%
(1) 養護	28～43	16	14.8	93%
(2) 教育・健康	44～50	7	6.6	94%
〃 人間関係	51～52	2	2	100%
〃 環境	53～56	4	3.4	85%
〃 言葉	57～66	10	9.8	98%
〃 表現	67～68	2	1.7	85%
2, 保育の環境	69～74	6	5.5	92%
3, 乳児保育	75～96	22	21	95%
4, 子どもの人権	97～103	70	61	87%
第4章 保育の計画及び評価	104～114	11	8.4	76%
1, 保育の計画	104～108	5	3.8	76%
2, 保育内容の自己評価	109～114	6	4.9	82%
第5章 健康及び安全	115～141	27	26	96%
1, 子どもの健康支援	115～125	11	10.4	95%
2, 環境及び衛生管理	126～129	4	4	100%
3, 安全管理	130～136	7	6.8	97%
4, 食育の推進	137～141	5	4.8	96%
第6章 保護者に対する支援	142～157	16	12.9	81%
1, 利用園児の保護者支援	142～151	10	9.2	92%
2, 地域における子育て支援	152～154	3	2.4	80%
3, 地域や関係機関との連携	155～157	3	2.6	87%
第7章 職員の資質向上	158～164	7	5.8	83%

### 【評価のまとめ】

指針の総則の項目は、職員の経験によってばらつきが見られた為、職員研修で取り上げていきたい。また、職員からの意見の中に、月齢の差や健診結果、ヒヤリ、保育環境、食育などについての共有について記載があったが、指針の中ではどの部分にそれらの項目が入っているのかをみつけ、意見交換することで保育者間の保育のすり合わせをしていきたい。来年度は、1.2歳児合同保育になる為、より個人差に合わせた対応が必要になると考える。今年度よりも話し合いの機会を増やし、職員同士が自分の考えを出しやすい環境をつくっていくことで共通理解に繋げていきたい。

